

2011

「ちよっこつとボランティア」高齢者の暮らしのおてつだいをしています。

“ちよボラ”始動

前号で募集した「ちよっこつとボランティア」まだメンバーは9名ですが、6月8日、大丸会館で初の会合を持ちました。ふれあい昼食会の調理手伝いの他、地域の高齢者の暮らしのお手伝いとして何ができるか、どのような形がいいか、熱心に話し合いました。本格的な活動はこれからですが、ゴミ出し、窓ふき、ちよっとした針仕事など、してほしい方、私も手伝いたい、という方は、社協会長 石田までお電話ください。
電話 864-0205
(踊場地区社会福祉協議会 坪島 博子)



2014

文化まつりは体験型に方向転換。白パイ、車イス、自転車シミュレーションなどに人気がありました。

No.91 2014.11.27 踊場連合だより

踊場連合だより No.91

発行日 平成26年11月27日

第38回 おどりば文化まつり

踊場地区連合町内会 踊場地区社会福祉協議会
実行委員長 新倉 卓

11月9日、恒例の第38回踊場文化まつりが汲沢小学校で開催しました。相当マンネリ化した文化まつりでしたが、今年は思い切った内容変更を試みました。何をどうしたら来客が増えるのか？ そのお客様に喜んでもらえるのか？ を念頭に置き実行委員会を立ち上げ、短い準備期間でしたが早急強引に開催しました。
違った角度からのご意見などをお聞きできたり、思いつきを実行に移す難しさを思い知らされたり、貴重な経験を得ることができました。
9日は朝まで雨の予報でしたが、開会中は奇跡的に晴れ、予想以上に賑やかで華やかな文化まつりになりました。初めての試みでしたが大成功でした。御協力いただいた各部の皆様、実行委員の方、再びのメンバー、OB…。そしてご来場くださった方々、感謝の気持ちを言葉もつかりません。月並みな言葉で感謝ですが、ありがとうございます。来年度もさらに皆様喜んでいただけるようなイベントにしたいと、すでに企画を開始しています。また各方面のご協力をお願いします。

歴代連合町内会会長	歴代編集委員長
1983～ 佐藤 義男	1983～ 石井 義一
1986～ 村上 武	1986～ 岩間 登
1989～ 櫻井 康信	1987～ 斉藤 丈司
2000～ 足立 光男	1990～ 氏家 衛
2002～ 三浦 利昭	2000～ 中山 七郎
2004～ 原 一男	2001～ 三浦 利昭
2005～ 小谷 貞夫	2002～ 山口寿重雄
2012～ 菊池 賢児	2003～ 猪狩 秀雄
	2016～ 渡邊 こそえ

2013

みんなが安全で快適な暮らしができるまちを目指しています。

No.87 2013.6.27 踊場連合だより

踊場連合だより No.87

発行日 平成25年6月27日

まちづくり連絡会を開催しました！

踊場地区連合町内会 会長 菊池 賢児

5月30日(木)平成25年度上期の踊場地区まちづくり連絡会が開催されました。まちづくり連絡会は踊場地区連合町内会が主催しているもので、2年前からスタートし、毎年5月と11月に開かれています。
高齢化、子供たちの安全性確保、自治会町内会と学校・地域協会の連携強化、防災機能強化などについて課題解決のための情報共有することを目的としています。
各自自治会町内会会長、地区社会福祉協議会、学校

長(小学校、中学校、高等学校)、汲沢地域ケアプラザ、踊場地区センター、踊場公園こどもログハウスの責任者が参加しますが、今回は10区役所、踊場交番からの出席がありました。
今回の会合では、自治会町内会独自の防災計画の必要性、ゴミ集積所の課題、振り込み詐欺問題、不審者出没時の課題、空き巣情報、ちかみ発生状況、子どもの見守りについて、中学生のボランティア活動についてなど多くの情報を得ることができました。今後ともこの会合を継続し、誰でもが安全で快適な暮らしができるまちを実現していきたいと考えています。

2016

踊場独自のハートプランができました。その取組みに参加しやすいように、ガイドブックを作りました。

踊場地区ハートプラン

皆さんのお手元に「踊場地区ハートプラン」のチラシが届きましたでしょうか。地域福祉保健計画を戸塚区ではハートプランと呼んでいます。これは社会福祉法に基づき、地域福祉を総合的に推進するために策定されますが、戸塚区ハートプランと共に、地区別計画として「踊場地区ハートプラン」が作られました。これから5年間の地域活動の目標となります。これまでの活動の活性化を図りながら5つの重点施策をもって「安心して暮らせるまち・踊場」の実現に向けて皆で頑張っていくというものです。

取組1.高齢者とやさしく支え合い、ふれあう活動を推進します。
取組2.地震火災被害を防止、防災意識の共通認識を高めます。
取組3.スポーツ活動などを通じ、地域ぐるみの健康維持推進を図ります。
取組4.きれいなまち、みどりあるまちを目指し、綺麗なしい風景づくりを行います。
取組5.地域活動情報の共有化を推進します。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。
(連合町内会 会長 菊池 賢児)

できた！「踊場地区 活動ガイドブック」

連合町内会や社会福祉協議会の各活動団体の様子を知りたい方、参加されたい方は、お手元に届いている「踊場地区 活動ガイドブック」を参考にし、ぜひご参加ください。どの団体もお待ちしています。
なお、「踊場地区 活動ガイドブック」は全世帯に配布しております。ご家庭で保管してください。お手元にない方は、以下までお知らせください。
踊場連合町内会 会長 菊池 賢児
広報委員長 渡邊 こそえ

◎昼祭り・納涼祭開催日	町内会・自治会名	開催日・時間	開催場所
戸塚区土井戸自治会	7/23 18:00～21:00	戸塚区土井戸	会館之岡辺通
	7/25 15:00～17:00	戸塚区土井戸	会館之岡辺通
新町会	7/30 17:30～20:30	新町	新町小学校
	8/6 16:00～20:00	新町	会館前
大町自治会	8/7 17:00～	大町	会館前
	8/6 16:00～20:30	大町	会館前広場
坂井町自治会	8/6 17:00～20:00	坂井町	会館前広場
	8/6 16:00～19:00	坂井町	会館前広場
プライマリシティ自治会	8/6 17:00～20:30	プライマリシティ	会館前広場
	8/6 16:00～19:00	プライマリシティ	会館前広場
平和台町内会	8/6 17:00～20:30	平和台	会館之岡辺通
	8/27 16:00～20:00	平和台	会館之岡辺通
浜原区浜原自治会	8/27 16:00～20:00	浜原区浜原	会館之岡辺通
	8/27 16:00～20:00	浜原区浜原	会館之岡辺通

広報委員は9名で活動しています。
委員長：渡邊 こそえ 副委員長：浜野 俊一
連合担当：齋藤 徳次 顧問：猪狩 秀雄
委員：新倉 卓、石田 久乃、中田 康信、牛頭 あゆみ、伊藤 市郎
よろしくお願ひします。

踊場連合だより 100号記念 かわら版

2017年11月30日 発行

1983 創刊号

踊りば連合だより

発行 踊場地区連合町内会・社会福祉協議会
会長 佐藤 義男
編集 猪狩 秀雄
印刷 渡邊 印刷 電話 864-0351

昭和58年11月27日創刊、題字は佐藤義男連合会長の直筆

「連合町内会の壁新聞」的に「泥臭さ」とローカル面に重点をおいて発行されました。

編集にあたって 編集委員長
この度、連合町内会の良い間の夢でありました新聞の発刊にあたって、私達は佐藤会長より編集、発刊の大任を任命されたことになりました。情報化社会の今日、より良い地域社会の築きあげは会員相互の対話と隣人愛の向上により連帯性を高めることにあると思います。
県市だよりをはじめとして、それぞれ地区や諸団体の特殊性を活かした新聞が数多く発行されていますが、私達は「連合町内会の壁新聞」的に「泥臭さ」とローカル面に重点をおいて発行していきたいと考えています。
今回の発行までですと数回の会合をもったものの素人ばかりの編集委員です、全会員4,800戸に配布するため所期の目的にむかって一生懸命頑張っていきますので是非とも会員みな様のあたたいご支援と情報の提供方を心よりお願い致します。
本だよりの編集委員をご紹介します。敬請略。
石井義一(連合・六郎丸) 滝沢 弘(民生・富士枝) 斎藤徳次(舟指・富士見丘・ハイツ) 猪狩 秀雄(舟指・富士枝) 島津義行(林指・新生命) 小畑 誠(舟指・六郎丸) 三浦利昭(助郷・平台) 猪狩秀雄(常任・中田) 大沼利志子(婦人・中田) 飯島 祥子(婦人・新生活) 樹原清隆(連合・富士見丘・ハイツ)です。よろしくお願ひします。
会題字は佐藤連合会長にお願いしました。

1986

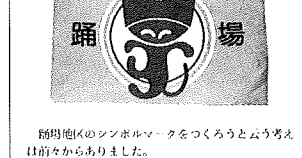
初代連合マークは戸塚高校美術の青木先生のデザイン

第9号 昭和61年1月25日

発行 踊場地区連合町内会・社会福祉協議会
会長 佐藤 義男
編集 猪狩 秀雄
印刷 渡邊 印刷 電話 864-0351

1990

統一旗制定



踊場地区のシンボルマークをつくらうとふう考えは前からありました。戸塚高校の美術の青木先生の提案になる踊場マークを修正リサイズして上の写真のようなものが出来ました。
若々しいオレンジの地に平和のわらわらと団結の輪をデザインして、町中にぱっと引き立つ緑色のマークを大きく入れたものですね。踊場の文字は少し小さめでシンプルに納めてあります。
このマークは平成2年1月27日の臨時総会後に行われた新年賀交歓会の席上発表され、皆さんの御賛同を得て踊場マークの統一旗制定となりました。これからは、各種行事の場にはこの旗のもと、大いに躍進して踊場連合ここにありを示して下さい。尚、各町内会、自治会におかれましては、このマークをマークを生かした応用デザイン、或はこれに大々の町会名を入れるなどして、踊場マークを踊場地区に広げていきたいと思います。ネットワークは「おどりば どりちゃん」なんていかが？

1990

青木先生のデザインをもとに二代目が完成、連合の統一旗ができました。

踊りば連合だより

発行 踊場地区連合町内会・社会福祉協議会
会長 猪狩 秀雄
編集 齋藤 徳次
印刷 渡邊 印刷 電話 864-0351

1991

第26号からタイトルロゴが変わりました。

踊場連合だより

発行 踊場地区連合町内会・社会福祉協議会
会長 猪狩 秀雄
編集 齋藤 徳次
印刷 渡邊 印刷 電話 864-0351

「おかげさまで100号を迎えました！」
広報委員会 渡邊こそえ
諸先輩方から受け継ぎ『踊場連合だより』の100号をこの秋発行することができました。
記事・写真等でご協力いただいた方々、読んでいただいたみなさま ありがとうございます。
創刊号は昭和58年、みなさんは何をしていた時代でしょうか？ 産まれていましたか？
広報委員9名で創刊号から読み返し歴史を感じる記事や面白そうな記事を「かわら版」としてまとめました。是非とも一読してください。
これからも、地域の状況や情報を発信してまいりますので暮らしに役立てていただけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

1990

2月12日 踊場公園開園

平成2年2月12日 踊場公園開園式

合同式典
1. テープカット
2. 祝詞
3. 小島会長 挨拶
4. 島津副会長 挨拶
5. 猪狩副会長 挨拶
6. 猪狩副会長 挨拶
7. 猪狩副会長 挨拶
8. 猪狩副会長 挨拶

1991 【ニャンぱく替】オープン

「ニャンぱく替」オープンから3ヶ月 横浜市踊場公園こどもログハウス

平成3年6月1日 開会式 祝賀会

6月2日 こども大会 ヴォーカル対決

「ニャンぱく替」って何ですか？
「ニャンぱく替」って何ですか？
「ニャンぱく替」って何ですか？

おくやま
営業時間 P15:00～12:00
TEL: (045) 864-0351

渡辺印刷
TEL: (045) 864-0351

1992

ドッジボール大会をきっかけに各自治会・町内会のシンボルカラーが決りました。

踊場公園と子供のつどい
公園建設二周年・ログハウス一周年記念
6月7日(日曜日) 午前9時より

昨年(平成四年)のドッジボール大会、撰録店などが計画されています。みんなで楽しく盛大にもり立てましょう。

日時 平成四年六月七日(雨天の場合十四日)
集合 午前八時半
社会開始 午前九時

参加要領
低学年 1、2、3年
高学年 4、5、6年
1チーム十五名
申し込み 参加申し込み

各自自治会・町内会の青少年指導員まで申し込み下さい。

★各自自治会・町内会のシンボルカラーを抽選で決めました。
はちまき、リボン、薩摩、ゼッケン、どれも結構ですが、一目で分かるようにそれぞれの単位で作って下さい。

応援旗など大歓迎、今後は、体育祭のときにも使います。

大丸・マリノブルー
踊場町内会・オレンジ
ぐみざわハイソング
黒宮団地・赤い
警察公舎・アイポリー
新生活会・茶い
新生活会・こげ茶
東明会・グリーン
東明会・うす紫
東明会・グリーン
なか開地・えんじ
平岡町内会・黄いろ
富士見町内会・ブラック
富士見丘ハイソ・ホワイト
平和台・黄みどり
明和会・スカイブルー
六郎丸・むらさき

1992

『使い捨て文化』から『地球にやさしい廃棄物処理』へ(分別化スタート)

混合から分別へ
いま、ゴミの出し方が変わろうとしています

環境事業協力員会 会長 田中 一夫

「使い捨て文化」という新しい消費で生み出した私たちの便利・追求型の消費行動は、逆にゴミに選り分けられる1世代ゴミ(競争)まで発展しました。

大量生産・大量消費により私たちの日常生活は年々増加傾向にゴミを増やし続けています。

そして一方では、安ければ安いと良いという、不法投棄などの自分勝手な不慮処理が、山や川、自分達の周りまで汚してしまっているのが現状です。

私たちの踊場市では現在混合収集方式で処理されていますが、処理工場の建設が遠い付かない程の場にふくれあがった今こそ、一日も早く分別収集に切り替えて環境保全型の社会システムをつくらなければなりません。

また、ゴミ開始には資源リサイクルという重要な一面も併せてあります。

資源のムダを省いて「地球にやさしい廃棄物処理」こそが私たちに求められている大きなテーマである

と申すのです。

平成3年における横浜のゴミの量は約160万トン、それが平成12年になると200万トンに約140万トン、更に3割近い40万トンの増加が予測されています。

これを分別収集に切り替えることにより、2000年の予測量は170万トン、増加量は半分の20万トンに抑えることが出来るということです。

処理工場の建設には莫大な費用がかかります。

私たちのやり方ひとつで非常に大きな経済的効果が出るということです。

実際には、まだまだ検討しなくてはならない問題が山ほどありますが、私たち自身がいち早く知恵を出し合い、「住みよき踊場」の一員としてひとりの力、意識・行動の上で積極的に取り組んでいかなければなりません。

1995

連合スタート時は17自治会・町内会でした。1996年に北汲沢と分割され現在は14自治会・町内会になりました。

踊場連合は17の自治会・町内会
知ってるようで案外知らない私たちの町

私たちのまち踊場地区は雑食が近くにありながら、人が住みはじめて150年位にしかならない、比較的新しいまちとも言えるでしょう。(六郎丸・大丸地域の集落が最も古く何百年?)
特に人口が急激に増加はじめて現存するようなまちが形成されたのは

昭和30年代からです。
連合が結成されたのが昭和29年。
スタートは甲から10までの6町会でした。6町会といっても甲と乙は当時東明町内会という一つの町内会でしたから正確に言えば連合結成時は5町会ということになります。
その後加入の順にしたがって番号づけをしましたが、地図上ではあちこちに飛んで見にくいかもしれませんが、なんとなく歴史の脈がわかるような気がしませんか。

昭和29年 ①踊場町内会
昭和29年 ②東明会
昭和29年 ③新明会
昭和29年 ④東明東町内会
昭和29年 ⑤東明高町内会
昭和29年 ⑥大丸自治会

以下、加入年度別
昭和32年 ⑦富士見町内会
昭和34年 ⑧養生自治会
昭和34年 ⑨六郎丸町内会
昭和35年 ⑩平和台町内会
昭和44年 ⑪汲沢平台町内会
昭和44年 ⑫警察公舎自治会
昭和45年 ⑬汲沢町内会
昭和47年 ⑭なか開地自治会
昭和49年 ⑮くみざわハイソ自治会
昭和49年 ⑯中興汲沢混同自治会
昭和50年 ⑰富士見丘ハイソ自治会
昭和50年 ⑱平成元年に東明町内会は現在の東と西にわかれまし。平成元年、37世帯が東明東町内会より新明会に編入。

1999

念願! 8月28日 市営地下鉄 戸塚→湘南台開通

待望の地下鉄いよいよ開業
8月28日(土)式典 8月29日(日)営業開始

市営地下鉄 踊場駅開通記念 地域安全のつどい
神奈川県警察音楽隊による
お楽しみ 音楽演奏 & ドリル演奏会

平成11年8月29日の市営地下鉄戸塚→湘南台開通を祝して、神奈川県警察音楽隊によるダイナミックな演奏会が行われます。
見終わる最後の思い出づくりにご家族お揃いでお出かけ下さい。

日時 平成11年8月28日(土) 午後3時から4時まで
場所 戸塚中学校校庭(雨天の時は体育館)

◎横浜市としての全体的な事は決り済みです。
●基本式・開通記念式典等
(1) 地味式
日時 8月28日(土) 10:30~11:00
場所 戸塚駅 湘南台駅の2か所同時開催
(2) 記念式典・祝賀会
日時 8月28日(土) 11:30~12:30
場所 立川駅改札口前コンコース

7月28日現在、No.1地下鉄駅は戸塚駅です。

2004

2月15日地区センター開館 管理運営はYMCA

踊場地区センターが開館しました

踊場地区センター 館長 大高 聡

2月15日に踊場地区センターが開館しました。地方自治法の一部改正から指定管理者制度の適用により、踊場地区センターの管理・運営を財団法人横浜YMCAが受託する運びとなりました。地域のみなさんの信頼によるセンター運営を目指し、利用者の方々の意見を反映しやすき環境づくりに努めたいと思います。

また、「ボランティア」をキーワードに「自らする地域・市民」を育てるためのサポートをすることも運営方針の一つに掲げます。

主な施設内容は次のとおりです。1階には主に個人利用の共有スペースとして図書コーナー、収容コーナー、プレイルーム、グループ室、体育室、2階には団体利用の共有スペースとして中・小会議室、行理室、工芸室、音楽室、相室があります。

地域のみなさんの主体的なグループ活動に積極的に活用していただくと同時に、センター全体の各種講習会やイベントなども開催していきます。センターのご利用については、お気軽にお問い合わせください。

役員要覧
理事長 三浦利昭
常任役員 藤原久美子(踊場地区センターが開館しました。一般の地区センターとして図書コーナー、会議室、作業室などの他に立派な体育室が併設されています。地区センターはYMCAに委託して運営されますが、地域の新しい施設として活用され、期待をこめて誕生したものです。

今年1月踊場地区連合町内会が発足して5周年を迎えます。この地区センターで記念式典も予定しており、新しい時代の一ページとして生かして行きたいと思っています。

地区センターの開館にあたってお祝い申し上げます。

2004

東急汲沢台出身の近賀選手! 2004年に「アテネ五輪のバックアップメンバーでした…」

世界で活躍! 地域のアスリートたち

アテネ五輪のバックアップメンバーの近賀 ゆかり(きなが ゆかり)さん 寿司雅(汲沢町)

小学3年の時、兄の影響で、東汲沢小学校サッカーチームに加入し、女子は一人だけにもかかわらず、良い指揮者と良いチームメイトに支えられ、卒業まで楽しく続ける。

中学では1年と2年時にジュニアユース全国大会で共に優勝し、3年時は、U-19日本代表に選ばれ、初めて日本代表のユニホームの袖におす。

高校では1年と2年、高校選手権全国大会で(歓喜)



2008

2008年の北京五輪ではベスト4入りのメンバーです。2011年W杯では優勝に貢献しました。

なでしこ JAPAN 近賀ゆかり選手(汲沢出身) 北京オリンピックで活躍

今夏、女子の活躍の目立った北京オリンピック「サッカーなでしこジャパン」で第4位の好成績に貢献した近賀ゆかり選手が東汲沢出身で寿司雅の娘さんということをご存じですか。

小さい頃から毎日兄さんや男の子とボールをけり、小学校時代は、東汲沢少年サッカークラブや戸塚選抜チームでも男子顔負けの名ストライカーでした。中学から横浜翼の女子のクラブチームに入り、2003年から日テレベレーザに所属して現在に至っています。

彼女は、大好きなサッカーを続けられた事が幸せで、横浜翼のクラブチームを紹介してくれた先生をはじめとする多くの方々との出会いや経験が今の自分につながっていると言います。いつも感謝の心を忘れず、前回のオリンピックでの挫折からも立ち上がり、夢を追い続けます。そんな地元仲間と一緒に応援しましょう。

最後になりましたが、オリンピック開催中、ポスター貼付や後援会に賛助いただいた踊場連合の皆さまに感謝申し上げます。

(文責 後援会代表 川上文美)

2009

地区社協が50周年を迎えました。

【歴史の重み】 踊場地区社協50周年表彰さる

踊場地区社会福祉協議会会長 氏家 衛

昨年11月20日、区内ホールに於いて踊場地区社会福祉協議会が、横浜市社協より設立50周年の表彰を受けました。

地域の諸先輩方がこの踊場地域の福祉活動に連綿と力を注いでこられた賜であり、歴史の重みをひしひしと感じさせられました。あらためて先人の方々の御苦勞に心より敬意を表します。

今後はこの御意志を継いで、地域住民全員が力を合わせて明るいまちづくりに邁進したいと思います。

2009

親子が安心して遊べる・仲間が作れる・情報交換ができる場所です。

「ひよこクラス」によっといで!!

新型インフルエンザが猛威をふるい、室内で遊ぶ子育てサークルなど、人の集まるところに足が遠のく傾向が出てきている一方、元気な子供達は遊び場所を求めています。「おどりばひよこクラブ」では、先月より受付に消毒用アルコールジェルを置き、インフルエンザ感染拡大の予防を始めました。

これからも地域の親子さんが安心して遊べる場所作りを心掛け、仲間作りの場、情報交換の場、困った時は気軽に相談の出来る場として、今後も活動していきたいと思っています。(主任児童委員 田中結子)

